

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp

「川西市の公開事業レビュー」

本当のムダが省かれ、必要な施策は拡充されるか

30事業を対象に実施、ずさんな結論も

安易な「民間」「市民」依存に危惧

中央北地区事業・・・「わからない」「進めよ」

市が実施している事業を「再評価、見なおそう」と「川西市公開事業レビュー（評価）」が7月31日と8月1日に開催されました。

私（黒田）は、レビューの目的である①事業の現状や課題が市民に伝わるか②市民の理解が深まり、多角的・客観的に評価され、協働が広がるか③本当のムダを省き、効率的・効果的に行政運営を図ることができ、か④効率一辺倒で、必要な市民福祉が切り捨てられないか、の視点で、とくに關心の深い10事業のレビューを傍聴しました。

市が実施している事業を「再評価、見なおそう」と「川西市公開事業レビュー（評価）」が7月31日と8月1日に開催されました。

私（黒田）は、レビューの目的である①事業の現状や課題が市民に伝わるか②市民の理解が深まり、多角的・客観的に評価され、協働が広がるか③本当のムダを省き、効率的・効果的に行政運営を図ることができ、か④効率一辺倒で、必要な市民福祉が切り捨てられないか、の視点で、とくに關心の深い10事業のレビューを傍聴しました。

わからないが進めろ??

「中央北地区整備事業」は、今年度11億8000万円を投じる大型事業ですが、評価者は「あまりにも問題が複雑でわからない」と評。しかし、議論の総括では、「スピード感をもって事業を進めろ」と結論づける無責任さに驚きました。

「市はお金を出さない」と「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

私は、この事業は単年度で議論されるものではなく、「参画と協働のまちづくり条例」を制定した川西市として、財政問題や市全体

「民間・市民力を使う」ということだけが強調され、「行政が果たすべき役割と責任」が明確にされなかつたのは残念です。

市民参加で十分な議論を

「廃止」ありきの議論

また、「高齢者おでかけ促進事業（年間6800万円）」、「ふれあい入浴サービス事業（同1700万円）」という単体のもものは、財政

「廃止」ありきの議論

また、「高齢者おでかけ促進事業（年間6800万円）」、「ふれあい入浴サービス事業（同1700万円）」という単体のもものは、財政

「廃止」ありきの議論

また、「高齢者おでかけ促進事業（年間6800万円）」、「ふれあい入浴サービス事業（同1700万円）」という単体のもものは、財政

「廃止」ありきの議論

また、「高齢者おでかけ促進事業（年間6800万円）」、「ふれあい入浴サービス事業（同1700万円）」という単体のもものは、財政

「廃止」ありきの議論

また、「高齢者おでかけ促進事業（年間6800万円）」、「ふれあい入浴サービス事業（同1700万円）」という単体のもものは、財政

「廃止」ありきの議論

黒川の国道崩落・・・各方面に支援

7月14日前後の「ゲリラ豪雨」で川西市黒川の国道477号線が約60m崩落。現在も通行止めになっています。（徳林寺・おうどん屋さんへはいけます。）

私（黒田）は、15日に現場を確認し、すぐに練木県会議員と連絡。21日に川西議員団、練木県議、宝塚土木事務所課長と現地視察。地元の要望や声を伝えました。

22日には、国会議員団兵庫事務所の金田次長が現場を訪れ、被害を受けた農家と懇談。国や県・市への支援要請を約束しました。

川西議員団として23日に川西市、27日に兵庫県に申し入れ。この日、要望していた県道にバス停ができ、バス運行がはじまったと喜ばれていました。

30日、阪神北県民局で金田次長、練木県議、議員団と土木担当や農政担当と懇談。崩落再発の防止対策と住民への十分な説明、土砂に埋まった被害場所への早急な対策、被害農家への支援を要請しました。



阪神北県民局にて

くろまめのつばき

こどもの虐待、高齢者の行方不明... 連日報道される怪談より怖い話。亡くなってしまった命は私達に何を伝えてくれるだろうか？

生まれた時から「人を殺そう」と考えている人間なんていない... 人とかかわる日常こそ宝。おはよう

と声をかけ、大丈夫ですかと気にかけて、ただそばにいるだけの「普通」のかかわり。

お祭りでコロケをほおぼっている知り合いの子どもの笑顔に出会った。以前、ちよつと暗かったが、「近所のおじちゃんに連れてきてもらってん。」とうれしそう。

地域の日常がこの街を支えている。温もりの連鎖がひろがって「人間」の字のごとき街づくりをめざしてがんばろう。

どうする 川西市の ごみ収集

高齢化は今後とも進展します。2008年(平成20年)9月議会を取り上げた当時、市の65歳超の比率は23%でしたが、開発の早かった大和地区では34.1%、グリーンハイツ(GH)では36%でした。

悩み多い ごみ収集

高齢化でゴミ収集がいつまで生かせるのか

「75歳を過ぎ、要介護の夫と2人暮らし。ステーションまで生ごみを運ぶのがつらい。ごみ当番の仲間は8人で、みんな70歳を超えており、ごみ当番も大変」
「働いていて、ごみ当番の時は遅刻したり、休んだり」
「収集の時間が定まらないので動きがとれない」
こんな悩みが寄せられています。どうすればいいか、一緒に考えましょう。(黒田みち)

当番の日は遅刻や休みで対応

私はこれまで、ごみ収集に関する市民の悩みを何度も市と議会に届け、解決の方向として「市はできるだけ早期に、できることから戸別収集を始めよう」と提案してきました。

この間の質疑を通じて、障がい者と一人暮らしの高齢者には、基準を設けて部分的に戸別収集を始めました。半歩前進ですが、まだまだ不十分です。

細かくみると、大和東3丁目には65歳超が40%、75歳超18%、GHの緑台5丁目には65歳超41.2%、75歳超18%です。高齢化と共に年々ごみ当番などが困難になり、戸別収集の要望が増える方向です。要望が急増すれば、「個別審査で対応」する方針ではかえって煩雑になることが予測されます。

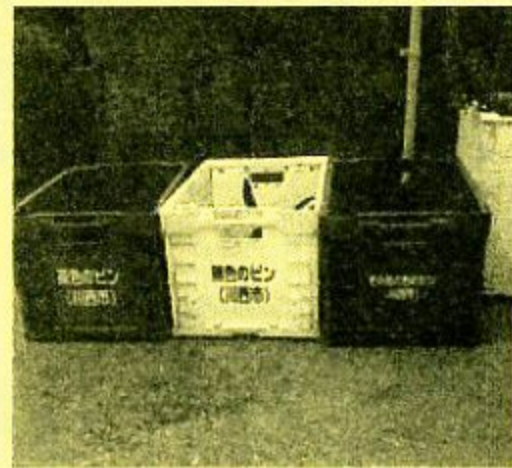
一方、欠点について市は私の提案に対する答弁で①作業効率の低下、収集時間の遅延、②増車、増員に伴う経費増、③徒歩作業に伴う他の車両への交通妨害、④各戸排出によるプライバシー上の問題を上げています。市は、「お金がかかる」といいます。そこで私は、2008年(平成20年)に戸別収集を実施している川西市と人口が似かよっている自治体を調査しました。

「ごみの戸別収集」を提案 高齢化に対応、今から計画を

戸別収集の利点と欠点は、何でしょうか。
利点は、①カラスなどのごみあさり被害②高齢者、障がい者、勤めている人のゴミ出し、ごみ当番の負担③ステーション宅の負担、ルール違反や住民同士のトラブル、などが除去され、⑤ごみの減量も期待されます。

お隣の池田市では、以前から「戸別収集」を実施。当時、市民ひとり当たりのごみ処理費用は13866円。藤沢市は14869円、あきる野市は12348円でした。いずれも川西市の16176円をかなり下回っています。

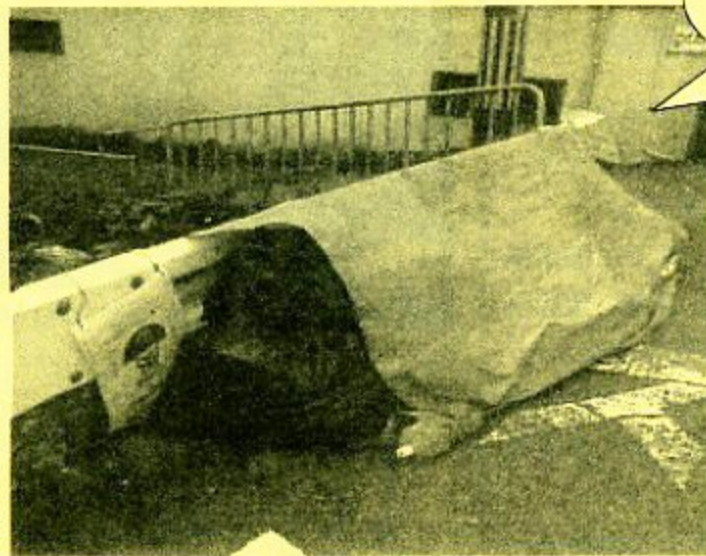
試行の課程で、集合住宅はどうするかとか、狭いな道路は軽自動車を使用するとか、の解決策を出しています。したがって、川西市でもできるだけ早く、「戸別収集の実施」方針を決め、具体化にはいるべきと考えます。



希望者には親切 柔軟な対応を

現行でひとり暮らし高齢者や障がい者の方は、申し込みがあれば、審査の上、戸別収集されます。

私は、「戸別収集」をめざしながら、「ごみ当番できないという実態に基づき、一人暮らしでなくても困難な家庭には対応すべき」と提起しています。



時間を守って、ごみ出し。車の邪魔にならないように、カラス対策も欠かせません。



誰もが、安心して住み続けることができる

街づくりをめざして (^ - ^)

世界一危険な普天間基地は無条件撤去を！！



みんなが **住んでよかった** と思える川西市に……

くらし・福祉・教育優先の市政をめざして
ご意見・ご要望をお寄せください